もっと知りたい街の川

河川紀行 Vol.8

水の情感あふれる柳川
川下りと白秋と雛祭り

柳川市

沖端川

おきのはたがわ

沖端川は、矢部川より分岐した一級河川であり、
みやま市瀬高町船小屋付近より柳川市を西流して有明海へ注ぎ込んでいます。
矢部川、沖端川、二ツ川、塩塚川から貫流する柳川市は、
旧柳川藩の城下町で、市内を掘割が縦横に流れることから、
水郷・柳川として知られ、掘割を使った「川下り」、柳川藩主立花氏の別邸「御花」、
詩人〈北原白秋〉、作家〈壇一雄〉などの文化人が有名です。

次へ

掘割

掘割は、クリークとも呼ばれる水路であり、柳川を含めた筑後平野南部に一般的に存在します。

柳川の旧城下町を囲む掘割(以下「城堀」という。)は、戦国時代の領主蒲池鑑盛が、柳川城の水の防壁として開発し、近世都市との関連までは、農業用水、上水道、水運の役割を担ってきました。

城堀の水を生活用水として利用するためにも、環境整備は欠かせません。

そのため、水門を経て、城堀に流れ込んでいる矢部川水系の「二ツ川」の水を、一時的に堰き止めるため、城堀水門を閉じるとともに、沖端に設けている「二丁井び」を開放することにより、城堀の貯水を有明海に流し去り、一時的に空になった城堀を清掃する「水落とし」が、毎年2月中旬から10日間ほど行われています。

水落とし

柳川地方には、無数の掘割が張り巡らされています。この掘割は一般的な河川と異なり、水流が極めて穏やかです。そのため掘割の中には水藻が発生し、底には塵芥(じんかい)が滞留しています。そのため、河川から流れ込む水を一時的に堰き止め、貯水を流し去り、空になった掘割を清掃します。このことは一般的には「掘干し」と言いますが、この掘干しの中でも旧城下町で行われることを「水落とし」と呼んでいます。

柳川雛祭り・さげもんめぐり

柳川には、女の子が生まれると、初節句に、子どもの無事な成長を願ってひな壇の前に"さげもん"を飾る慣わしがあります。それを観光客にも楽しんでもらおうというのが「さげもんめぐり」です。"さげもん"とは手作りの布細工と鮮やかな七色の糸で巻いた柳川地方伝統の大まりを下げ輪につりさげた艶やかな雛飾りです。

この「さげもんめぐり」を始め、「おひな様水上パレード」、「流し雛祭」と水の街柳川ならではの光景が2月から4月まで繰りひろげられます。

河川紀行：発行／福岡県河川協会
http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai
info@fukuoka-pref-kasen.jp

閉じる

有明海に臨む漁港です。賑やかな雰囲気の中で、豊かな海産物を味わうことができます。

現在、天守閣はありませんが、永禄時代から300余年、天下に誇る水の城です。柳城中学校グランドの片隅に、天守台が残っています。

戦国時代の終わりから柳川藩成立の頃、築造されたといわれ、ここから人工的に造られた「二ツ川」へと水が流れ、堀割を通って城下町・水郷・柳川を潤します。

柳川城内に入る唯一の水門です。外敵の侵入を防ぐために造られたものですが、現在は川下りコースの出発点として、当時の雰囲気を味わうことができます。

「火宅の人」や「リツ子・その愛」で知られる直木賞作家檀一雄。この碑には彼の「有明海むつごろうのうた」が刻まれています。

昭和16年に作られた、
北原白秋最後の思郷の詩「帰去来」白秋が愛した
この地の風情に浸ることができます。

もっと知りたい街の川

河川紀行 Vol.8

[出典・資料提供]
柳川市観光協会　TEL 0944-73-2145
URL http://www.yanagawa-net.com/
柳川市webサイト
URL http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/